

## 観点別評価

①三つの生産段階と関連付けて、輪飾り作りは何人グループが適切か判断できる。

【思考・判断・表現】（ワークシート）

(A) 十分満足できる	(B) おおむね満足できる	(C) 努力を要する
作成したグラフから、生産資源が限られる場合、4人程度のグループの生産量を最高に、生産逡増、生産逡減、損失発生が起こることが理解でき、その人数が適切だと判断できる。	作成したグラフから、生産資源が限られる場合、4人程度のグループの人数が適切だと判断できる。	作成したグラフから、生産資源が限られる場合、4人程度のグループの人数が適切だと判断することに支援を要する。

②自分の経験から限界生産力逡減の法則の例を挙げることができる。

【知識・理解】（ワークシート）

(A) 十分満足できる	(B) おおむね満足できる	(C) 努力を要する
自分の経験である学校生活や行事におけるグループ活動などを例に挙げ、使用できる用具（生産資源）が限られる場合、人数（労働力）が適切に配分されなければ、生産逡減が起こり、損失が発生することを発表することができる。	自分の経験である学校生活や行事におけるグループ活動などを例に挙げ、本時の学習内容と同様の結果が起きたことを認識し、発表することができる。	本時の学習内容と自分の経験が結び付けられず、支援を要する。